

平成26年度第1回屋久島科学委員会の論議の整理（その他）

課題	主な意見	現在までの対応	今後の対応
地域連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・屋久島の地域連絡会議は行政機関のみであり、他の世界遺産地域のように地域の民間団体が入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関で構成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会議に民間団体を参画するタイミングとやり方、対象範囲を議論する。 ・利用のあり方に関する検討の枠組みができれば、それです足りる可能性がある。
地域拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産地域の拡張は、今後における検討課題に入れるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現管理計画については、現行区域を前提とした計画となっていないことから課題としていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺産地域の拡張は、新規登録にも匹敵し、優先課題としては、低いと考える。今後、拡張区域については、論議の場を持つこととする。
その他 エコパークの拡張登録申請	<ul style="list-style-type: none"> ・移行地域に関しては、屋久島町の全課を上げて取り組んでいただきたい。 ・ジオパークも検討して欲しい。 ・世界遺産地域が北東方向に延びている愛子岳の辺りは、将来的展望として海岸まで自然の景観でつながることが可能。視野に入れてエコパークの地域設定を考えて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の申請に関しては、文部科学省のルールに則り、移行地域を設定している。 ・緩衝区域に該当する国有林の薪炭共用林については、共用林の契約者の理解を得て、3者（国、町、契約者）の確認書を取り交わし、担保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングに基づき、専門部会を立ち上げる予定。専門部会には、他課にも協力を依頼する予定。 ・区域の確定、面積データ等整理。 ・緩衝地域における「産業の維持可能性」について、林業生産活動が重視されていないことから、これに対するどのような意見を述べるか検討が必要。